

課題名：洋ラン生産者組織の活動支援と省エネ生産技術の普及

ねらい

- ・県内洋ラン生産者組織が行う、「徳島の洋ラン」のPR活動を支援します。
- ・シンビジウム切り花栽培において開花時期を遅らせず、品質を確保できるEOD-Heating処理技術確立し、その使用燃料削減効果を試算・検証するとともに、現地に於いて実証し、早期の技術普及を図ります。

活動地域・対象

地域：県下全域

対象：徳島県洋ラン生産者連絡協議会、阿波洋らん青年倶楽部員、シンビジウム生産者

普及活動の目標

「徳島の洋ラン」のPR、若手洋ラン生産者の資質向上。
シンビジウムの消費燃料の削減で、経営費の削減ができる。

目標に向けた活動概要

- ・洋ラン生産者組織への活動支援
 - ①徳島県洋ラン生産者連絡協議会への支援
 - ②洋ラン若手生産者を対象とした研修会の開催や活動支援
- ・省エネ生産技術の普及
 - ①EOD事業内容の検討 EOD導入検討会（実証ほの品種、温度設定）の実施
 - ②現地調査や導入農家との打ち合わせ
 - ③成績検討会（効果分析、今後推進方法の検討）



洋ラン展示（徳島駅）



洋ラン栽培研修会

普及活動の成果

①徳島県洋ラン生産者連絡協議会の活動支援

協議会は、「徳島の洋ラン」のPR活動として、阿波おどり空港（23年度）、ゆめタウン24・25年度）26年度は、徳島駅で12月に洋ラン装飾展示を8日間実施しました。アンケート調査の回答から消費者動向やニーズを把握することができました。

②シンビジウム若手生産者を対象とした研修会の開催や活動支援

1月末に開催された徳島県花き展示品評会において若手生産者が多数入賞し、同時開催した洋ランフェスティバルに約2,500人の方が来場され、県民へ広くPRすることができました。

③・EOD-heating処理展示ほの設置 6カ所

- ・EOD処理による消費燃料量・生育・開花調査による管理モデルパンフの作成

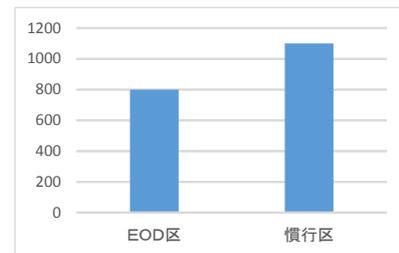
洋ラン展示アンケート調査(徳島駅)

①性別、②年齢、③住所、④洋ランの認知度、⑤好きな花色、⑥プレゼント回数、⑦自宅での花の装飾、⑧徳島の花の認知度

○結果概要

- ・50～70代の女性の方が多い。他県の方もあり。
- ・洋ランの認知度はあるが、家で飾る方は、少ない。
- ・好みは、白、ピンクで年1～2回のプレゼントが多い。

阿波市栽培事例(単位リットル)



燃油使用量(3a当たり26日間)

用語説明

EOD-heating…日没の時間帯(end of day)から数時間における温度管理に着目した変夜温管理

今後の発展方向

- ・県内洋ラン生産者組織が「徳島の洋ラン」の市場・実需者（消費者を含む）を対象としたPRに努め、洋ラン業界の活性化を図ります。
- ・若手生産者の資質向上を推進するとともに、洋ラン生産者に低コスト・省エネ・省力技術を提供し、経営安定の実現に向け、関係機関と連携し取り組んでいきます。
- ・EOD-heating処理で年内出荷ができる品種については早期に現地推進を行います。年末から年明け出荷になる品種においては、温度設定を考慮し推進を図ります。

関係者からの声

(洋ラン生産者)・景気低迷で洋ラン経営は、厳しいが、洋ラン装飾展示や洋ランの即売で、販促のための情報発信ができて良かった。

(EOD実証ほ導入農家)

- ・前年と出荷時期があまり変わらない品種については、燃油の削減ができ今後も続けていきたい。
- (シンビジウム栽培農家)
- ・品種が異なると温度反応が異なるので、導入を慎重に進めていきたい。

高度技術支援課

連絡先：徳島県名西郡石井町石井字石井1660 tel：088-674-1922